

こどもの居場所 利用者アンケート

集計結果報告書（こども用）

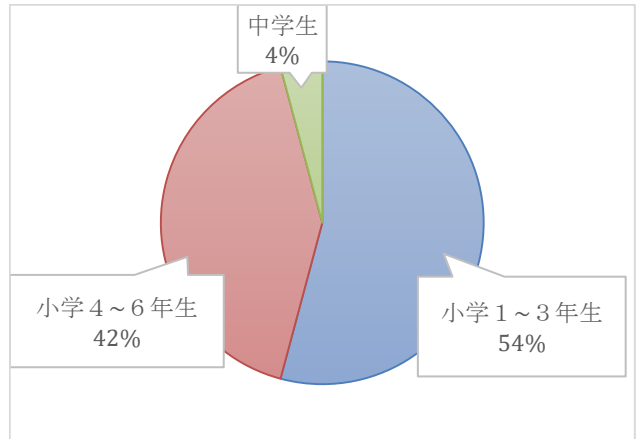
調査実施日：2025年8月～2026年3月



■ 回答者の年齢区分

年齢区分	件数	割合
小学1～3年生	26件	54%
小学4～6年生	20件	42%
中学生	2件	4%

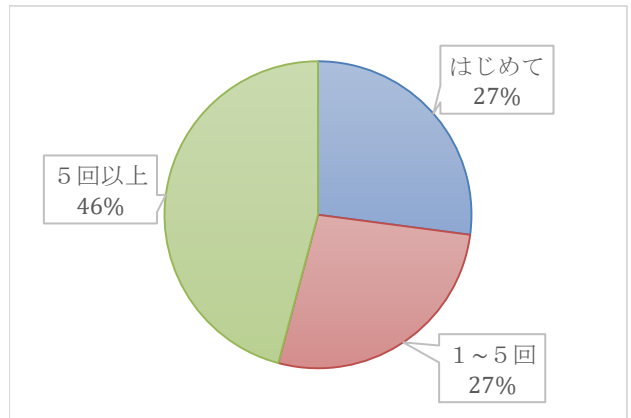
小学生が96%を占め、1～3年生が54%と過半数という結果となりました。中学生も2名いることから、幅広い年齢層が利用しています。



■ 利用回数

回数	件数	割合
5回以上	22件	46%
2～3回	13件	27%
はじめて	13件	27%

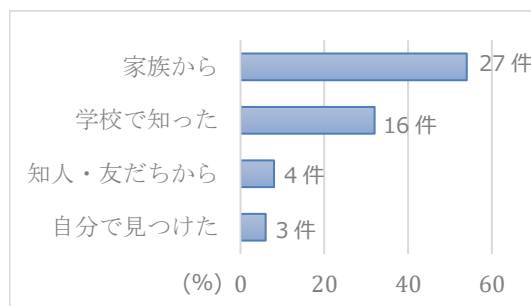
「5回以上」が46%とリピーターが多い一方、「はじめて」も27%おり、新規の来場者も継続的に増えています。



2 居場所を知ったきっかけ

知ったきっかけ	件数	割合
家族から聞いた	27件	54%
学校で知った	16件	32%
知人・友だち	4件	8%
自分で見つけた	3件	6%

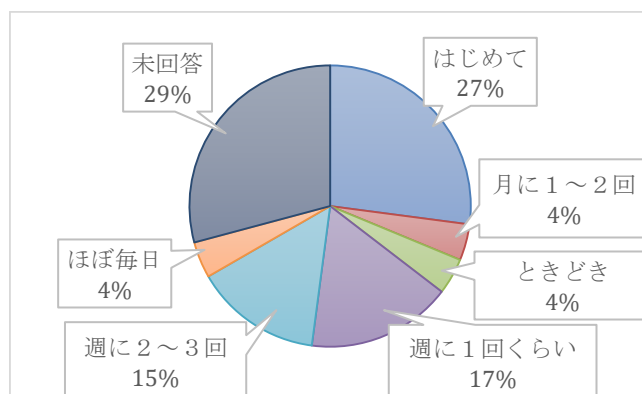
「家族から聞いた」が54%で最多。次いで「学校からの通知」が32%と、家庭と学校を通じた認知が主な経路です。



3. 利用頻度と活動内容

■ 利用頻度

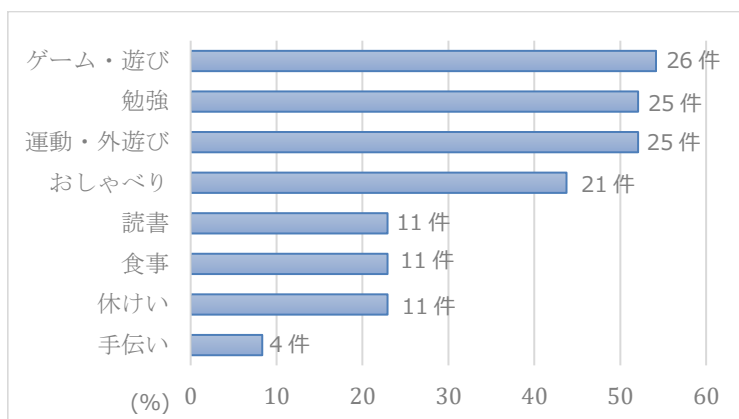
回数	件数	割合
ほぼ毎日	2件	4%
週に2～3回	7件	15%
週に1回くらい	8件	17%
ときどき	2件	4%
月に1～2回	2件	4%
はじめて	13件	27%
未回答	14件	29%



全体の36%が毎週利用している一方、初めての方も27%と一定数いる結果となりました。

■ 活動内容（複数回答）

活動内容	件数	割合
ゲーム・遊び	26件	54%
勉強	25件	52%
運動・外遊び	25件	52%
おしゃべり	21件	44%
読書	11件	23%
食事	11件	23%
休けい	11件	23%
手伝い	4件	8%

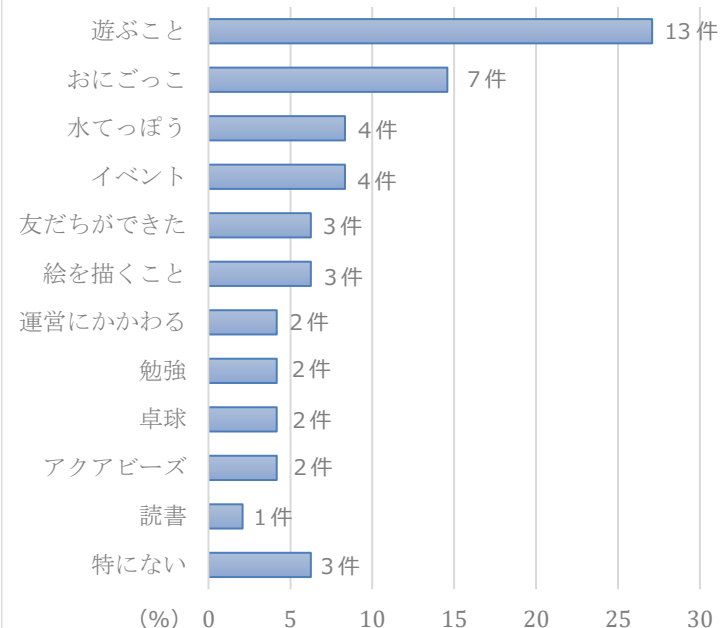


※ 複数回答のため合計は100%を超えます。

「ゲーム・遊び」54%と「勉強」「運動・外遊び」52%がほぼ同率で最多となりました。遊び・学習・身体活動の3項目が上位を占めています。また、「おしゃべり」44%も比較的多く、交流の場としての側面も強いことが分かります。

4. この居場所で好きなこと・楽しいこと

活動内容	件数	割合
遊ぶこと	13件	27%
おにごっこ	7件	15%
イベント	4件	8%
水てっぽう	4件	8%
友だちができた	3件	6%
絵を描くこと	3件	6%
運営にかかわる	2件	4%
勉強	2件	4%
卓球	2件	4%
アクアビーズ	2件	4%
読書	1件	2%
特にない	3件	6%



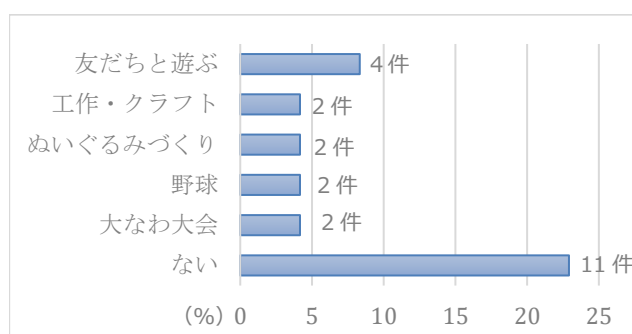
【その他】

- ・テープでミニチュアをつくること。
- ・自由にできること
- ・いっぱいあります！
- ・いろいろなところから来た人にたくさんのことを教えてもらうことができたこと！
- ・いろんなことが知れてうれしい
- ・みんなとしゃべること
- ・楽しいことはお菓子作りです
- ・好きなことクッキング
- ・にこちゃんとミニチュア作り（テープとクレヨンとマッキー）
- ・テープでアートをつくる

※ 複数回答のため合計が100%にはなりません。

5. この居場所でできたら嬉しいこと

活動内容	件数	割合
友だちと遊ぶ	4件	8%
大なわ大会	2件	4%
野球	2件	4%
ぬいぐるみづくり	2件	4%
工作・クラフト	2件	4%
ない	11件	23%



【その他】

クイズ大会。（個人名）ちゃんに来てほしい。ここでおやつをつくれたらいいな。そくてん。たのしかった。チェスができたらいいな。テレビが見れたら嬉しい。テレビとげーむ。ピアノ。ボール遊び。海へ行く。学習の時、少し静かにしてほしい。楽しい。鬼ごっこ。自由な居場所。友だちが増えたら良い。

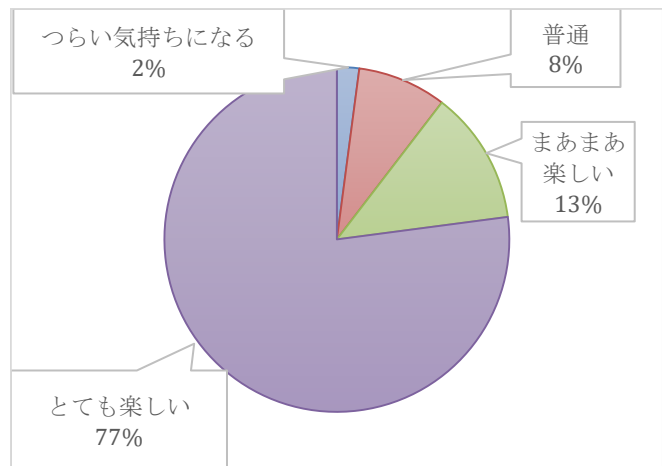
※ 複数回答のため合計が100%にはなりません。

6. 来ると感じる気持ち・安心感

■ この居場所にいるときの気持ち

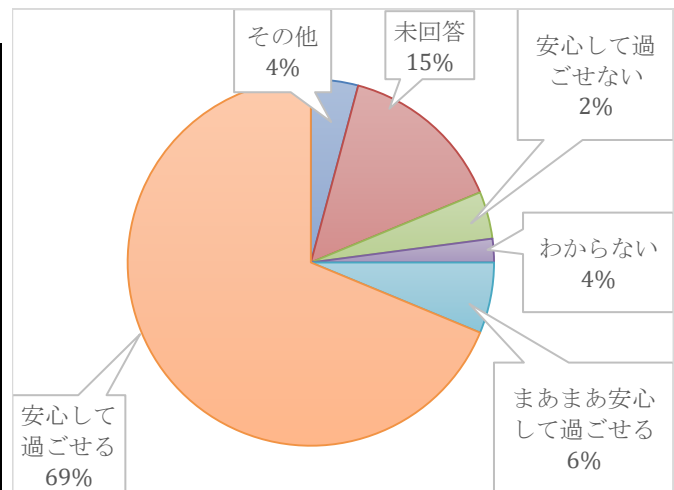
活動内容	件数	割合
とても楽しい	37件	77%
まあまあ楽しい	6件	13%
普通	4件	8%
つらい気持ちになる	1件	2%

「とても楽しい」77%、「まあまあ楽しい」13%を合わせると90%がポジティブな気持ちになると回答。居場所としての雰囲気づくりが高く評価されています。



■ この居場所は安心して過ごせる居場所か

回答	件数	割合
安心して過ごせる	33件	69%
まあまあ安心して過ごせる	3件	6%
安心して過ごせない	1件	2%
わからない	2件	4%
未回答	7件	15%
その他	2件	4%
【その他】		
・少し緊張する		
・家に1人であるより安心する		



「安心して過ごせる」「まあまあ安心して過ごせる」など安心感を示す回答が75%と大半を占める一方、「安心して過ごせない」と回答した方が1名いました。

▶ 「つらい気持ちになる」「安心して過ごせない」と回答したこどもが1名いました。

本調査は匿名で実施しているため、個人名やどの居場所からの回答かは特定できませんが、すべての居場所事業において、利用に至る背景の把握を含め、より丁寧な関わりが求められると考えます。

7. その他、居場所についてのご意見

- ・きめつのやいばのマンガ
- ・友だちとあそぶ
- ・わからない
- ・ぶらんこ
- ・安心なすべり台があるといいな
- ・めっちゃたのしい

※ お子さんからのコメントをそのまま記載しています。

8. その他、何か言いたいこと

- ・もっとあそべたらいいです。
- ・もっと友だちをつくって楽しく遊びたい
- ・サッカーしたいです。
- ・高3の人がまた戻ってきてほしい
- ・サマースペースがすごい楽しかった
- ・ここはたのしい
- ・サマースペースのおかげで、留守番が減って嬉しい

※ お子さんからのコメントをそのまま記載しています。

9. まとめ

本アンケートは48名のこどもが回答しました。小学生が96%を占め、なかでも低学年（1～3年生）が54%と過半数を占めています。利用のきっかけは「家族から聞いた」54%と「学校で知った」32%が中心で、家庭・学校の両ルートを通じて認知が広まっています。

活動内容は「ゲーム・遊び」「勉強」「運動・外遊び」が高い割合を占めており、多様なニーズに応えることができています。

「居場所にいるときの気持ち」では、「楽しい」「まあまあ楽しい」の合計が90%、「安心して過ごせる」と感じているこどもも75%に達しており、精神的な居心地の良さが高く評価されています。自由記述でも「友だちができた」「自由にできる」「家よりも集中して勉強ができた」など、学校でも家でもない第三の場所としての価値を示す言葉が多く挙がっています。

「サマースペースのおかげで留守番が減って嬉しい」というコメントがあり、長期休暇中の子どもの見守り・居場所としての機能も果たしていることが確認されました。また、「つらい気持ちになる」と答えたこどもが1名おり、個別ケアへの目配りも引き続き重要と考えます。

今後の要望としては、スポーツや創作活動などのイベント・プログラムの充実、屋外遊具の整備、静かに学習できる環境づくりなどが挙げられます。また、「友達をもっと増やしたい」「もっと遊べたら良い」という声も出ています。

以上